

# コバネイナゴ (shortwinged rice glasshopper)

*Oxya yezoensis*



コバネイナゴ成虫



幼虫による苗の食害

## 発生生態

5月頃にふ化した幼虫は、畦畔沿いの雑草やイネの苗を食害します。

成虫は7月下旬から発生し、イネの上位葉を食害します。密度が高い場合は収量や品質に影響を及ぼします。

防除体系の変化等により、発生は増加の傾向にあります。

## 防除対策

発生の目立つほ場では、密度を調査した上で防除の必要性を判断します。

穂ばらみ期から出穂直前の時期で、捕虫網による20回振りすくい取りで100匹(株当たり0.5匹)以上であれば、防除が必要とされています。